

市民の SDGs に関する意識・行動アンケート

実施期間：2026年7月13日（月）～22日（水）

回答者数：196人

Q1 SDGs についてどの程度知っていますか（SA）

回答内容	回答数
17 の目標すべてを知っており、内容を人に説明できる	5
いくつかの目標を知っており、内容もある程度知っている	121
SDGs という言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	68
SDGs という言葉を今回のアンケートで初めて知った	2
合計	196

Q2 SDGs にどの程度関心がありますか（SA）

回答内容	回答数
とても関心がある（⇒Q4 へ）	15
関心がある（⇒Q4 へ）	106
どちらともいえない（⇒Q4 へ）	60
あまり関心がない	12
全く関心がない	3
合計	196

Q3 SDGs に関心がない理由は次のうちどれですか（MA）

回答内容	回答数
SDGs の理念や目標が身近に感じられない	8
情報が不足している	8
これまで十分に取り組んでいると感じている	5
SDGs を達成することの必要性がわからない	4
自分にメリットがない／感じられない	4
SDGs の理念や目標に共感できない	4
その他	2
合計	35

Q4 SDGs について何か取り組んでいますか（SA）

回答内容	回答数
既に取り組んでいる（⇒Q6 へ）	132
今は取り組んでいないが、今後取り組む予定（⇒Q6 へ）	24
わからない	27
今も取り組んでいないし、今後も取り組む予定はない	13
合計	196

Q5 SDGs に取り組むためには何が必要ですか（MA）

回答内容	回答数
具体的な取り組み方の情報	46
参加するだけで SDGs に取り組めるイベントやキャンペーン	34
手軽に取り組むための仕組みやグッズ	32
一緒に取り組める人とのつながり	10
特にない／わからない	9
合計	131

Q6 SDGs に取り組む企業の商品やサービスを利用したいですか（SA）

回答内容	回答数
機会があれば利用したい	111
積極的に利用したい	49
どちらともいえない	34
あまり利用したいと思わない	1
全く利用したいと思わない	1
合計	196

Q7 SDGs に取り組む企業の印象について（MA）

回答内容	回答数
その企業への好感や信頼感が増す	131
その企業の姿勢や取り組みを、人に教えたり勧めたりしたくなる	37
いずれも影響しない	37
自分や家族の就職先としてよさそうと判断する	28
企業のアピール（PR）目的のように感じて、かえって印象が悪くなる	13
その他	1
合計	247

Q8 豊田市全体として SDGs への取組が進んでいると感じますか（SA）

回答内容	回答数
非常に進んでいると感じる	21
やや進んでいると感じる	105
わからない	39
あまり進んでいないと感じる	29
全く進んでいないと感じる	2
合計	196

Q9 今後、市は SDGs 推進のために何をすべきだと思いますか（MA）

回答内容	回答数
市民が日常で取り組める具体的な情報発信	138
学校教育や生涯学習へのさらなる浸透	103
市民・企業・団体・行政などあらゆる分野の関係者の連携や協働の推進	79
講演会やワークショップなど市民が参加できるイベントの開催	56
特になし／わからない	17
その他（具体的なアイデアをご記入ください）	6
合計	399

Q10 本市の SDGs 推進へのご意見や未来像をお書きください

エコバッグはほとんどの方が使っていて見えて行き渡っていると思います。

昨日、不要な服をステーションに持って行ったら、外国に行くんだよと教えてもらいました。再利用されるとは思ってたけど、外国に行くとは認識不足で、捨てるとは言っても、破れてなくて、綺麗に洗って持って行って良かったなと思いました。一つでも協力できた事は良かったけど、取り組みについてわかりやすく説明があるといいかなと思います。

10 年ほど前は SDGs を耳にする機会が多かったですが、最近は聞く機会が減ったように感じます。気候や平和など逆方向に進んでいる感がありますが、継続することが大切です。個人・家庭で出来る取組について説明などがあると良いです。

豊田市にはリサイクルセンターが多く、市民の資源分別意識も高いという強みがあります。この特徴を最大限に活かし、プラスチック・紙類・生ごみを市民が主体的に循環させる「地域循環都市モデル」を構築したいと考えています。具体的には、白色トレイ・透明トレイをスーパーで回収する仕組みを広げ、市・スーパー・市民の三者が利益を得るマテリアルリサイクルを推進します。また、欧州の ELV 規制に学び、市民が分別した資源を自動車産業の循環に活用することで、豊田市ならではの産業共生型 SDGs を実現できます。さらに、コンポストの普及により燃えるゴミを半減させ、焼却施設の負荷を軽減します。こうした実例を市民に広げることで、環境負荷を減らしながら快適な暮らしを実現できます。市民の行動が街を変え、街の環境が市民の健康を支える。そんな持続可能な豊田市の未来を描いています。

SDGs という言葉を使わずとも、易しい言葉で皆に伝えたい。17 のゴールは、昔からやってきたことだと思う。子どもや高齢者にもなじみのある言葉で、繰り返し声を掛け続けたい。

日本以外の国にとっては SDGs の視点というのは新鮮に映るのかもしれませんが、我々日本人にとって至極当たり前のことをスローガンにしているに過ぎず、改めて取り組むべき内容でもないと思います。

sdg's ポイントをもらえる機会の増加

大人から子どもまで学習が大切。あらゆる機会を活用して情報提供や啓蒙活動が続けてほしいです。エコットによく行きますが、利用者が少ないのが残念。リサイクル本をいただけてきたり、家にある不要になった本を持っていったりして活用させていただいてます。リユース広場もありがたいです。

SDGs 推進ですが、豊田市が積極的に何をしているかアピールしないと豊田市民や豊田市にある企業もついてこないと思います。

いろんな項目がある中で、豊田市がいい例として取り上げられると誇らしい。世界の TOYOTA があるすばらしい市なので、クルマの街＝豊田市をもっと知ってもらうチャンスだと思う。

やまのぶにあった資源回収の場所がなくなり、資源を捨てる場所が近くなり困ります。近所の大人の多人がそう言っています。もっと回収場所を増やして欲しいです。

市民のクールシェルターとして活用されている図書館などの駐車場台数が足りないと思う。何とか台数が増やせないか。もしくは市街地に向かうおいでんバスの本数を増やせないか検討ください。

以前はニュース等のメディアで取り上げられていたが、最近は全くと言っていいほど目にすることがない。以前のようにメディアを活用して幅広く周知されるようにしたほうがいいと思う。

学校や市役所や支所、図書館、博物館、美術館等々、市民生活とのあらゆる接点を活用して地球環境に良い行動を自然と選ぶ導き、ライフワークとしていけるとよりよいのではと感じています。そのためにも、小さな頃からの環境学習はより有効かもしれません。子供から教わると大人もすこし変わるかな。

SDGs の認知度がまだ低いように思いますので、いろいろな行事の時に目に見えるかしてお伝えして頂き、老人にも一目瞭然で理解出来るような方法があれば、嬉しいです。17 項目は、覚えられませんので宜しくお願い致します。

全国一位であることも知りませんでした。もっと市民が関わる事ができる活動があるといいなと思います。

17 の目標と言われると、「多いしなんか面倒だな」と感じてしまうし、その目標を見ても自分に何ができるのか、ピンと来ないのものも多い。目標は3つくらいに絞って、日常で実践できるものがあれば子供と一緒に取り組みたいが、それを個々に任せるだけではなく、豊田市として掲げた方が他者とのかかわりの面でも実践しやすいと思う。

今は全国にSDGsが浸透していますが、豊田市はそれより3?4年前くらい!?からSDGsに関するイベントを開催し取り組みを私たちに教えてくれていたように思います。最近よく聞くようになって、豊田市は早かったんだなと思っています。

今後も楽しいイベントを通して発信し続けるのは効果的だと思います。また、学校で教えてもらいみんなで実践する事も子ども達には効果的だと思います。

SDGs という言葉や幾つかの項目は何となく知っていましたが、具体的に私達が取り組めることは少ないように感じます。無駄な商品を買わない、街や川、海にゴミは捨てない。リサイクルをする。節電する等出来ることはやっているつもりですが、まだ取り組めることがあれば知りたいです。出来そうなことを広報やイベントなどで定期的に発信して頂くと目に留まり、気にして生活していこうかなと思います。またフェアトレード商品等も背景を含めてイベントで出展してもらえたら手に取りやすいかなと思います。

SDGs という言葉が企業の PR や表面的なパフォーマンスのように見えてしまい、あまり身近に感じられません。「わざわざ言われなくても、当たり前のこととして普段から取り組めばいいのではないか」と感じています。そもそも貧困に苦しむ国々にとっては到底達成できないような目標を掲げて、世界共通のゴールだとするのは現実離れしていると感じます。そうした綺麗事の枠組みに合わせるよりも日々のゴミ問題、地域の福祉、暮らしやすさなど、当たり前に行うべき住民サービスを底上げすることに注力してほしいです。

「エコ」との違いが不明確だなあと感じます。特に豊田市はエコットという施設があるので、SDGs との違いや同じが分かりにくいです。また、学校教育での取り扱いが薄いため、いくら大人が頑張っている、未来の大人(今の子ども)に繋がっていきにくいと感じます。例えば、学校の総合的な学習で、みんな同じテーマではなく、17 項目のどれかを選んで探求するなど、もっと取り扱いを増やされたいのかなと思いました。

市としてどんなことに取り組んでいるのかの情報発信をして欲しいです。
温暖化阻止の取り組みを積極的に推進すべき。特に豊田市の気温が日本中で最高レベルまで上がっている事を深刻に反省してほしい。豊田市に住んでいて、はずかしい。
SDGs は行政だけでなく、地域のコミュニティや企業・学校を巻き込んだ取り組みが重要だと思います。豊田市にはものづくり産業や豊かな自然という強みがあるため、それらを生かしながら環境と経済の発展を両立できるまちづくりを期待しています。
持続可能な開発でないと地球が破綻します。世界に遅れを取らないように率先して取り組むべきだと思います。
トヨタ系などの大企業による SDGs の取り組みはイメージしやすい反面、その他の中小企業や豊田市自身の積極的な取り組みについては、日常生活の中で十分に実感できていないのが現状です。豊田市には、公共団体として市民一人ひとりの意識を高めるため、SDGs に関する啓発活動や教育活動に、より一層力を入れて取り組んでいただきたいです。
私は SDGs について、これまで何となくしか理解できていなかったと感じています。しかし、小学生の子どもたちは学校で学ぶ機会があるため、しっかりと理解していて、その違いを実感しました。これからもイベントなどを通じて SDGs を広く発信し、多くの人が身近なこととして考えられるようにしていくことが大切だと思います。SDGs を特別なものではなく、当たり前の社会の考え方として根付かせていくことが、これからの大きな課題だと感じました。
プラスチックごみで容器包装は分別回収されているが、容器包装でないプラスチックは燃えるゴミのままである。これもプラスチックとして回収されると聞いていたのに、実現していない。どうなっているのか？
頑張らない人への支援策にならないようにしてほしい。
SDGS ポイントが利用できる場所(店)の普及
SDG s をよその市や県でも行っているのでしょうか？豊田市がこの活動を行っている事がうれしいし、自慢です。関係する項目を列記して、P Rをする。 車通勤→自転車O R徒歩 など

SDGs のことかは分からないのですが、私には知的障がい IQ50 と、発達障がいの自閉症と、精神障害の統合失調症と、難病もあり、大変苦しい思いをしているため、社会の方たちにこのような人がいると言うことを知っていただき、社会参加の場が出来ると良いと思います。孤独なので、早く居場所を見つけたいです。

やり過ぎて参加しづらいのも困るので、市民の方の実践されている内容を可視化してあると参加しやすい。

豊田市全体で取り組んで欲しいです。環境イベントの時は、そのように取り組めていても、別のイベントの際に、例えばチラシを沢山配布していたりなどがある為、全てのイベントで取り組んで欲しいと思います。

正直自分が意識しないところで豊田市が行政としてやってくれているんだろうと考えているところがある。我が家としては「リサイクルできるものは市のリサイクルや企業のリサイクルの仕組みに従う」「コンポスト利用で生ゴミを減らす（乾燥器の方に替えようか検討中）」「クールシェアリングは積極的に活用」と市での呼びかけに対し、活用・できることに対応していく姿勢です。

カバン型コンポストに取り組んでいます。まわりにやってる知り合いがいないので、もっと市民に広げて欲しいです。SNS とかしてないので発信できず、申し訳ないです。

17 項目の中で、具体的に何をすることが必要かわからないものがあります。リサイクルなど資源を無駄にしないようなことはわかりやすいですが、人権の問題などは何ができるのか具体的なことを啓発したほうが良いと思います。

ささいな事でもマメに行動して、これからも地道に SDGs に貢献できるよう頑張ります。職場で環境に対することを世間話したり、ごみの分別を実践したり、少しずつでも知識を周りに伝えていけたらイイなと思います。

気候変動が心配であり、対策に期待しています。

豊田市が全国 1 位になっていることも知らなかった。もっと、広報誌やホームページのトップ画面でアピールしてもいいのではないかなと思う。あと、そもそも SDGs と聞くと環境に特化した活動と思いがちなので間違っていないかもしれないが、もっと、いろんな取り組みがあることもいろんな場面で広報した方がいいと思う。

そもそも豊田市のような車社会が SDGs なのか？ と思う。駅もバス停も最寄っておらず、公共交通機関の使い勝手が悪すぎるため、車に頼らざるを得ない。ここは改善の余地はないのでしょうか？

17 の目標だけだと漠然としすぎて具体的に何をしたら良いのかわからないので、169 のターゲットレベルで具体的な施策に落とし込んでいただきたいと思います。

地域住民への推進がまだ十分とは言えないと思う。地域の回覧物や資料に SDGs の事を掲載し広めた頂きたい。

限りある資源を大切にしていきたいです

やはり SDGs の文言は一般には浸透しません。具体的な言葉で出来ることを示す方が良いかと。環境問題に関心のある人も 17 項目を把握するのは大変です。

以前やっていたリサイクルでポイントが貯まる制度を復活させてほしい。段ボールや古紙、牛乳パックなどもポイント対象にしてほしい。イオン三好店などはポイント付与を継続しているが、豊田市は辞めてしまったため、取り組み意欲が変わった。

豊田市での SDGs の取り組みの情報発信が乏しい様に思います。各種イベントで、ポイントを付与するなど、今まで以上に今後も必要かと思います。特に自治体が主体のイベントは、住民が直接、肌間隔で感じるので、ポイント付与による SDGs 啓蒙活動は効果的ではないでしょうか。やはり市民個人個人が、何かメリットを具体的に享受できる様になれば、豊田市の SDGs の取り組みも推進できるかと考えます。

SDGs とは一人ひとりが何をやれるかを考えながら実践するという活動だと思います。但し、そうは言っても一般的な市民は特に年配層については学校教育でも学んだこともないため、ヤル気はあっても何をしたら良いか分からない方々も多くいらっしゃるのではないかと思います。ですので豊田市から『こんな活動をすれば SDGs へのマッチング度 80%以上です』とか、写真イラスト付きの具体例をたくさん用意して、豊田市主催の各種イベントなどで周知活動をしてみてはいかがでしょうか？ 理解が深まってくると、戦闘状態だったり、軍備軍拡路線を進むのは、SDGs の反対だと市民一人ひとりが気づくようになると思いますよ。

いち時は盛り上がったが、現在は冷めているのじゃないかと言うイメージが強いです。市民が取り組んでどのような利益があるのか感じづらくなってきたと私の周囲の人は語っています。企業でよくお仕事をやっている方がいますが、その方々は仕事だからやってるのであって、あまり真剣になってるような人がいないと友人は語っていました。本当に日本として力を入れているのかと言うと……

豊田市は世界をリードする自動車産業の街です。2030 年に向けて、次世代モビリティ（EV や水素燃料電池車など）の普及だけでなく、製造工程における再生可能エネルギーへの転換をさらに加速させてほしいと考えます。

数年前から SDGs がうたわれはじめて、最近では関心が薄くなってしまっていました。概念はそれなりに浸透している気がしているので、再注目されるような何か目新しい動きがあったらいいなと思いました。

豊田市は日頃から学校教育の一環で取り組んでいるので子供から教えられることが多く、素晴らしいと思います。個人としても、買い物やエコ活動など自分にできることを無理のない範囲で継続して続けていきたいです。

SDGs を本当に進めようとしているかが、よくわかりません。SDGs 関連の資料等はよく見かけますが、実際に何かを実施しているかと言えば、今までの実施事項と変わらない気がします（誤解を与える表現になってしまうかもしれませんが、今までの実施事項を SDGs の項目に当てはめているだけ）。

一人一人の力は小さいけれど、それが積み重なれば大きな力になります。何事も楽しくやれることが継続へと繋がるので、ゲーム感覚やポイ活感覚でやっていけたらもっと浸透するのかなと思います。

ごみの分別について、若い人は抵抗なくできていると思うが、高齢者の中にはできていない人や興味のない人が多い気がする。長年の習慣を変えるのは時間がかかると思うが、イベントなどで周知していくといいと思う。

もっと情報発信してほしい。豊田市の取り組みがよくわかりません。

小学生や一般の市民が SDG s の何に頑張っているのか分かるような掲示を学校や交流館・コミュニティに掲示して一人一人が何に関心を持って取り組んでいるのか、またみんながこういうことをやっているのなら自分も参加しようかという雰囲気づくりが大切だと思います。例えば大きなひまわりの掲示板に実施内容を貼っていくような？

市民ができる具体的な取り組みを、自治会や学校を通して発信し、一人一人だけでなく身近な人とみんなでやろうという気持ちになってもらうことが大切なのかなと思います。また何か達成できたとき、嬉しい気持ちになるような褒美があってもいいと思います。

これから勉強して取り組んでいきたいです

大人より子ども達のが学校で SDGs 教育を受けているので詳しいです。
TV や様々なイベントや広報とよた等で PR してくださるので、何となくは知ってる市民が多いかと思いますが、知らず知らず実行している事と、少しの努力や配慮で SDGs に繋がる事など様々なので、私自身もより一層 SDGs に取り組んでいきたいです。

関心のある人と無関心の人に差があると思います。特に地域間で強く思う。以前のエコフルタウンのように大きな発信の場所があると良い。身近で簡単な事から始める事の大切さを以前訪問した時に学んだ事を思い出す。

以前エコステーションで、ペットボトルを回収機に通すとポイントが貯まったので、再開してほしいです。今は他市に持って行っています。これも以前ですが、エコカードに貯まったポイントを豊田産の果物や野菜に交換できたので、お中元に何年か使っていました。これも再開してもらえると嬉しいです。

市の広報媒体やひまわりネットワーク等、身近な情報発信媒体を利用する等しながら、市の業務が如何にして SDGs に関係する企業と連携しているか等紹介頂いたり身近に知る機会が増えると良いと思います。

SDGs の取り組みに納得できるような説明や教育、環境整備を進めてほしい。

現在の世界情勢を鑑むと、リーダーであるべき国・政治家が、その役割を果たしていない。非常に利己的であり、国民・市民目線からは、そういうリーダーの姿勢を見るにつけ、取り組む意欲を失うのではないか？ 市政レベルでは、できることに限界があるのでは？

